

◆開催方法: 全面 Web (Zoom ウェビナー) ◆受講人数: 15社23名 ※受講者の入社後平均年数: 12.78年

満足度の理由を教えてください

(良かった点)

水道法の概要を学べた(3) / 資料が分かり易かった / 法体系の概略を理解できた
普段着目しない話も聞けた / 適用範囲や概要がよく分かった / 水道事業のルーツが興味深かった
学ぶ機会がなかったので良い機会だった / 関連法規との関係などが分かり易かった
普段の業務では知り得ない知識を習得できた
配布テキストに載っていない情報を諸所に盛り込まれていた点
ビルの水道は水道法と建築物衛生法の2つが関連していることが分かった
コンテンツ部分のとおり、広い範囲ではあるが技術基準や水道法の範囲を学べた
自社製品と給水設備・配水設備・造水設備(浄水設備)がどのように繋がっているかをイメージできた
水道法が配管のどこまでを網羅しているのか知らなかったが、図と併せて分かり易い解説があり理解できた

(悪かった点、改善点)

資料の一部が霞んでいた / 後半は水道法以外の説明が多かった
聞きたかった内容が詳しく言及されなかった / 中級編などあれば他の方にも受講を薦めたい
バルブの概要説明は別の講習でも良いかと思った
座学を月1回のペースで受講しているが、設備見学会などがあれば参加してみたい
もう少し専門的な内容(規格外品の認証の取り方や認証制度)を学べる回があると良い
概略説明だったので知っている情報が多かった。最近の動向など詳しい情報をもう少し入れて欲しかった
購買に直結する法律を理解したかった(浸透試験を実施したメーカー品でないといけない。それと相当で良しとしてもらえるのかを知りたかった)

特に参考になった講義内容を教えてください

水道施設・設備の概要(3) / 法規の概要(2) / 水質基準 / 鉛レス材の話 / バルブの概要
水道事業のルーツ / 給水装置の技術基準 / 給水装置の技術基準 / 規格と法規の位置付け
水道法と建築物衛生法の違い

他の方へ受講を推奨・進言する理由

基礎的な知識の向上に繋がるから(3) / 水道法を理解することでバルブの知識が深まると感じた(2)
水栓関係を設計する上で必須である為 / 知識として学習しておくの良いと思った
法規と規格の違いや水道法の概要が分かる為
何も知識が無い状態でも情報がインプットされ易い講義だと思ったから
Zoomを使って専門職の講義が実施されていることを知れたので、上司・同僚に進めたいと思う
題目で関連性は分かるが受講してみないと詳細は不明なので、継続受講を判断するためにも推奨したい

以上